

# 大砂土東地区社会福祉協議会だより

# えが お

第 12 号

平成21年6月

(発行) 会 長 榎本 房雄  
(編集) 広 報 部

〒337-0053  
さいたま市見沼区大和田町1-1387-1  
電話・FAX 048-687-7935  
http://oosatohigashi.sakura.ne.jp

## 定期総会開催される

(五月十五日・当事務所)

第五回大砂土東地区社会福祉協議会総会が開催されました。総会は、江島総務部長の進行で、議長に松井繁武ブルーハイツ大宮自治会長を選任し、平成二十年事業報告・決算報告及び、同二十一年度事業計画・予算案、並びに役員改選について原案通り承認されました。



会長  
榎本 房雄

### 地域福祉の充実を 目指して

鬱陶しい日々が続いておられますが、地域の皆様にはますますお元気で過ごさしめることと大慶に存知あげます。

大砂土東地区社会福祉協議会は「地域住民の誰もが声をかけ合い安心して暮らせる地区を目指す」との理念を念頭に住民参加の福祉活動を展開してまいりました。

サロン活動を始め、会食サービスクッキングや在宅介護者の集い等、高齢者が楽しく生活できるように様々な事業を進めてまいります。

また、地区社会福祉協議会のことを知って頂くため、広報紙「えがお」をお届けしていますが、これだけでは十分とは言えませんので、この度「大砂土東地区社会福祉協議会ホームページ」を開設いたしました。利用の詳細は別記の通りです。地区社会福祉協議会の情報がすぐに得られますので、

利用されるようお願い致します。まもなく暑い夏がやって参ります。くれぐれも健康に留意され、お元気で過ごされるようにして下さい。



## 総務部

去る五月十五日、大砂土東地区社会福祉協議会第五回定期総会が開催されました。当日は、晴天に恵まれ多勢の方が出席される中、議案が承認され、無事終了いたしました。地区社会福祉協議会の活動内容についても少しずつではありますが、地域の皆様ご理解が得られ、ありがとうございます。

今年度についても、地域と密着した福祉活動を展開し一人でも多くの方々に参加していただき、近隣の友達・地域の友達と輪を広げていき、福祉の充実をはかってゆきたいと思っております。



又、地元の皆さんで地区社会福祉協議会のイベント等で関心のある方がおりましたら、私達スタッフと共に取り組み新しい友達づくりが出来るとうれしく思います。



## 事業部

サロン活動は現在、お陰様で地域内六ヶ所で開催されています。その内五ヶ所が高齢者サロン、一ヶ所が子育てサロンで、地域の皆様のふれあいの場となっております。特に高齢者サロンでは会って話す喜びを見出し、元氣と自分らしさを取り戻すお役に立っています。サロンという小さな地域コミュニティが果たす役割は、今後地域の助け合い高齢者の見守り等において益々期待されることになると思います。

サロン活動以外には、夏休みに世代間交流事業として紙ヒコキを作り飛ばそう会を計画しています。またターゲット・バードゴルフ大会、在宅介護者の集い、地域福祉講座の開催を予定しています。



## 広報部

地区社会福祉協議会の機関紙として「えがお」が発行されています。今年度も年三回発行いたしますので、地区の行事・サロン活動・ボランティア活動など、多岐にわたって掲載しより身近な中身を早く連絡したく考えておりますので何か新しいことなどありましたら、ぜひご一報頂ければ幸いです。また、皆さまの投稿記事も歓迎いたします。

大砂土東地区の一万四千世帯(自治会加入)に配布されていますが、四月からは地区社会福祉協議会のホームページも開設しておりますので、地域の方々にとって、両方が有効な情報発信源としてご利用いただきたく、よろしくお願い致します。



### 子育てサロン ひらこころば

#### ベビーマッサージ講座 開催

四月八日、午前十時からブルーハイツ集会所(東大宮三丁目)において、講師にさいたま助産院長・山田美津枝先生をお迎えして開催されました。

今回は、赤ちゃんの足のオイルマッサージの仕方を教えて頂き、親子のスキンシップの大切さ、お母さんが与える母乳が子供の人間形成の上でいかに大切なものも同時に学びました。



子育てをしている母親の交流の場ができ、子供同士もふれあうことができるのとてもうれしく思います」との声が多数あがっていました。

### 在宅介護者の集いを開催

二月二十六日(木)、地区社協初の試みとして「在宅介護者の集い」を自治会、居宅介護支援事業所に周知協力を依頼し、開催しました。二十名の参加希望がありました。

当日は、福祉職員に進行を依頼し、参加者の方に自己紹介を兼ねて現状を話していただきました。日頃の思いを話される方、介護保険について質問される方、障害の程度により支援を受けられないことで苦悩する方、抱えている問題の多さと、相談窓口がどこなのかが周知されていないことなどの状況で相談に行けばいいののかといった話が出されました。

社会福祉法人さいたま市社会福祉協議会の「賛助会員」加入のお祝い  
社会福祉協議会(社協)は、社会福祉法に基づく社会福祉法人の一つで、高齢者や障害者はもちろん、市民誰もが明るく、住みよい福祉社会を実現するために、地域住民が主体となって組織された民間の社会福祉団体です。  
会員募集強化期間(7月~8月)  
賛助会費は、地域福祉活動を進めていく上で、最も重要な財源となっております。

### 地域包括支援センター ってどんなところ?

介護予防事業は、介護保険ではなく要介護状態にならないように、元気な時から介護予防に取り組む事業です。

支援や介護が必要になる恐れがあると判断された方は介護予防を始めましょう。さいたま市の健康診査が四月三十日から始まりました。健康診査の時に生活機能評価チェック表で「はい」「いいえ」で答えていただきます。その結果で、区役所を通じて各地域包括支援センターに生活機能の低下のおそれがある方(さいたま市では元気アップシニアと言う)のチェック表が届きます。

地域包括支援センターではその方たちに介護予防事業についての電話をします。ご希望があれば訪問し、詳しい説明や介護予防ケアプランの作成をします。

- 元気アップシニア(特定高齢者)の介護予防事業の内容は、
- ①はつらつ元気教室
  - ②元気回復トレーニング教室
  - ③運動機能向上教室
  - ④栄養改善・口腔機能向上教室
  - ⑤ふれあい教室
- その他、訪問事業もあります。教室終了後は継続して運動が続けられるようサークルの紹介や立ち上げ支援を行うっております。

### 見沼区のフ・ラ・カ・ル・ト 「大和田村」の名の由来

編者 重道

見沼区大和田町は、かつて足立郡大和田村といった、その名の由来について、明治初期に編纂された「武蔵国郡村誌」には、「相傳ふ永禄三年信濃国上田の座島主殿附此地に來り荒蕪を開拓し上田村と稱す後天正十八年大和半を徳川氏へ獻せしより大和田村と稱すと云う」とある。信濃国上田はともかく、大和田村が上田村とも呼ばれていたのは確かで、寛永十六年、万治二年、寛文二年、寛文五年等の大和田村文書に上田村と書かれているものがある。

最近注目されてきた応永三年(一二九六年)十月十八日頼写日光輪主寺本「大般若經」奥書に、書写場所の一つとして「武州崎西部中河郷大和田村藏林寺」(武州足立郡之内太和田村法泉山藏林寺遺教所)とあり、時期的に天正十八年(一五九〇年)大和芋説は成り立たない。

和田や大和田の地名は全国各地にあり、彎曲した地形の所、河川が曲流している所、円形に田が開けた所(輪田)等が語源とされている。しかし、ここ大和田村の場合は何れにも合致しそうにない。

吉田茂樹「日本地名語源事典」によると、東日本では「ウハダ(上田)」を「ワダ」と約化した地名があるという。上田は一段と高い所にある田地(水田とは限らない)をいい地形的にも、また上田村とも呼ばれていた点でも一番合っているように思うが如何。

### ガリシオ爺さんのミニ科学



### ボイルの法則

一定量の気体の体積を半分押し縮めると圧力が二倍に上がり、圧力を半分にするとも体積は二倍に膨張します。この関係を「圧力」×「体積」=一定という式で表したのがボイルの法則で、高校(中学)の理科で誰でも教わった筈です。

ボイルが生きた十七世紀後半、この自然は火・空気・水・土の四つの元素からなるという四元素説がまだ広く信じられていました。そんな時代に、ボイルの法則は物理学の世界に革命的と言ってもよいほどの影響を与えました。

それは、自然が原子からできているという「原子説」に根拠を与えたからです。たとえば、空気が水や岩石のように連続した元素でできているならば、それがなぜ圧縮されるかということを説明するのはとても困難です。しかし、何もない空間の中に原子が浮かんでいると考えれば、その空間が縮むと考えればよいのです。

続く十八世紀から十九世紀、錬金術から脱却した近代の物理学の発展にボイルの法則が与えた影響はとても大きかったです。

### 地区社協ホームページ開設

昨年10月に「ホームページ企画グループ」がNPO法人地域人ネットワークの協力のもと、メンバー9名により立ち上がりました。代表のかたの絶妙なる取組得し、4月より開設となりまして、新しい行事など、日々更新してまいりますので、地域の発信源のひとつとして、ぜひご利用ください。

<http://www.oosatohigashi.sakura.ne.jp>

### ♡奇附のお礼♡

小林昇様より  
各ふれあい食食へ  
しょう油 十二本  
のり 三箱  
お茶 一箱  
ありがとうございました。

### ◆◆編集後記◆◆

新年度がスタートしてすぐに、前広報部長の体調不良で退任などがありましたが、なんとか十二号を発行することができました。今後も全員一丸となり頑張りますので、ご期待下さい。

なお、住民の皆様も自分の体調には万全な気配りをして、元気に健康にお過ごし願います。